

(2) 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

～ 学校編 17 ～

学校名：船橋市立法典西小学校

学習指導案

- 1 教科 社会
- 2 単元名 「わたしたちの千葉県 3 人びとの暮らし ②水産業のさかんな勝浦市」
- 3 講師 船橋市立法典東小学校 校長 紙谷誠一先生
- 4 日程 平成28年12月9日(金)

校時	展開時間	学年 組 会場	授業者
5	13:45～14:30	4年1組 1階 家庭科室	担任：齋藤 仁 栄養教諭：口野佳奈

社会科と食に関する指導 ～ 食育の宝庫 社会科 を活用するには ～

本単元の食に関する指導のねらい 「食に関する指導の手引き―第1次改訂版―」より

- 1 目標
(4) 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。
- 2 内容
 - ・食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること。
 - ・食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていること。
 - ・食という行為は、動植物の命を受け継ぐことであること。

設定の理由

- ・社会科には食べ物を取り扱う単元が多いものの、栄養教諭が行う授業として先行事例が少ないため。
- ・本単元は、魚→漁の方法→漁師→水産業→地域の順に学習が進められる。1つの食材(かつお)が児童の手元に届くまでのことについて深く知ることができ、上述の目標に迫ることができるため。
- ・本単元は、社会科の副読本に掲載されている。毎年決まった時期に学習することが予想され、食に関する指導の年間指導計画に組み込みやすいため。

本授業の見どころ

- ・実物を見て気付いたかつおの特徴を児童が漁の方法につなげられるように、栄養教諭がかつおの特徴と生態を関連させるところ。

第4学年1組 社会科学習指導案

平成28年12月9日(金) 第5校時

場 所 家庭科室

指導者 担 任 齋藤 仁 (T1)

栄養教諭 口野佳奈 (T2)

1 単元名 わたしたちの千葉県 3 人びとの暮らし ②水産業のさかんな勝浦市

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校指導要領「社会」に次のように示されている

1 目標

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人のはたらきについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

2 内容

- (6) 県(都、道、府)の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、
県(都、道、府)の特色を考えるようにする。
ウ 県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活

本単元では、地形、自然環境を生かした勝浦市の人々の暮らしを学習する。

勝浦市の漁師の仕事について取り上げ、漁師以外にもいろいろな職種の人々が水産業に携わっていることを知り、海を中心として人々が暮らし、まちづくりが行われていることを理解できるよう指導していく。

勝浦市の漁業等の概要

勝浦市沿岸では、岩礁域の多い関係から、わかめ、ひじき、あわび、さざえ、いせえび等の磯根漁業が盛んに営まれているほか、沖合でも天然礁が多く、金目鯛に代表される底魚や沖合を黒潮に乗り北上するかつお、まぐろを対象にした漁業が盛んに行われている。市内で漁港として機能しているのは全部で9漁港である。なかでも勝浦漁港は漁港としての規模が大きく、古くから近海かつお一本釣り水揚げ港として全国有数の実績を誇り、春から夏期には県外大型かつお釣り漁船のほとんどが入港し水揚げを行っている。また漁業に関連する行事として勝浦大漁祭りが行われ、地区ごとに神輿を出し合同祭礼を

行う様子は勇壮で活気あふれ、見物客もお祭り気分を味わえる。1591年から開かれている勝浦朝市は、石川県輪島・岐阜県高山とならぶ「日本三大朝市」に挙げられ、水曜と年始以外は、およそ70軒の店が並び、その日漁港で水揚げされた魚介類や、塩辛・なまり節・干物などの水産物加工品、とれたての野菜や果物のほか、漬物や餅・赤飯など、また竹細工・木工細工などの工芸品が並ぶ。海水浴場も透明度が高く好評を得、観光資源となっている。

(2) 単元の中心概念と単元構造

中心概念	学習内容	キーワード
勝浦市では、地形や自然環境を生かして水産業を中心とした生活をしている。	①地形や自然を生かした水産業 黒潮が近くを流れていることや入り江が多い地形を生かして、水産業をしている。	・入り江 ・黒潮 ・漁港 ・漁業協同組合 ・水揚げ量
	②漁師の仕事 魚の種類によってとり方を変えたり、長時間にわたる仕事をしたりしている。	・一日の仕事 ・捕れる魚の種類 ・魚の捕り方 ・県外の船
	③港ではたらく人・魚をふやすための工夫 勝浦市には、漁師以外にも港で働く人や氷工場で働く人、栽培漁業に携わる人など様々な仕事をしている人がいる。	・港の中での仕事 ・港以外での仕事 ・仲買人 ・栽培漁業
	④とれた魚のゆくえ 勝浦市で水揚げされた魚は、魚市場や朝市で売られ、消費者に届けられている。	・市 ・朝市 ・魚市場 ・小売店
	⑤勝浦市の暮らし 勝浦市の人々は、海辺の町を利用した観光に力を入れ、特色あるまちづくりをしている。	・勝浦大漁まつり ・かつおの加工食品 ・朝市 ・海水浴

(3) 児童の実態

《11月4日調査実施 男子14名 女子18名 合計32名》

①魚を見るのは好きですか？ はい25名(78.1%) いいえ7名(21.9%)
②知っている魚の名前は？(自由記述・複数回答可) まぐろ26名 さけ17名 かつお9名 5種類以下 11名(34.4%) 6～9種類 15名(46.9%)

10種類以上 6名(18.8%)

③魚を食べるのは好きですか？

はい26名(81.3%) いいえ6名(18.8%)

④好きな魚料理は？(自由記述・複数回答可)

塩焼き15名 さしみ13名 すし8名 煮付け4名 蒲焼き2名
汁物2名 その他1名

⑤魚釣りに行ったことがありますか？

はい17名(53.1%) いいえ15名(46.9%)

⑥この魚の名前は？(鯛のモノクロ写真を見せる・自由記述)

正答24名(75.0%) 誤答2名(6.3%) 無回答6名(18.8%)

⑦行ったことのある千葉県の海は？(自由記述・複数回答可)

三番瀬6名 九十九里浜2名 葛西臨海水族園のそば2名
名前不明19名 無回答7名

以下各1名 館山 千葉市 南側の千葉の海 ららぽーとの近くの海 東京湾

⑧ひれ はどこですか？(胸びれ尾びれなど5か所あり)

5か所正答 1名(3.1%) 4か所正答 1名(3.1%)

3か所正答 0名(0%) 2か所正答 0名(0%)

1か所正答 29名(90.6%) 無回答 1名(3.1%)

⑨うろこ はどこですか？

正答29名(90.6%) 誤答2名(6.2%) 無回答1名(3.1%)

⑩えら はどこですか？

正答12名(37.5%) 誤答18名(56.3%) 無回答2名(6.3%)

⑪社会科は好きですか？

はい27名(84.4%) いいえ3名(9.4%) 無回答2名(6.3%)

《分析・考察》

魚は見るのが好き、食べるのが好きと答える児童が多く(①, ③より)、知っている魚や好きな料理など様々なものが挙げられた(②, ④より)。魚釣りは半数を超える児童が行ったことがあり、魚に親しんだり、海を訪れたりする経験はある(⑤, ⑦)。しかし、訪問地の名前や魚のえらの場所となるとあいまいである(⑦~⑩)。

そこで、本単元では魚をじっくりと観察して魚に親しみを感じ、魚と漁、地形、自然環境に深い関係があることを知り、勝浦市の海の恵みをいかしたくらしについて理解させたい。

(4) 指導観

「つかむ・たてる」段階

漁港の写真から、県内のどのあたりの場所であるか特定するために必要な情報を集める。これまで旅行等に出かけた際、どこを訪問しているか関心を持たなかった児童が多数いる。訪問先の風景に気を留めることは少なかったのだろう。今回は1枚の写真をじっくり観察し、読み取る技能を高めたい。本学年は昨年度の校外学習で船橋港を訪問している。船橋港など今まで訪れたことのある場所と比較

し、似ている所・異なる所を挙げていくことで特色が見えてくる。また写真から読み取った特色を地図上で探す活動も行う。漁港と海のそばまでせまる山が特徴である。これだけで限定することは難しいが、地図に親しむ経験を積ませたい。

「調べる」段階

前段階で勝浦漁港では生鮮かつおの水揚げ量が多いことにふれている。勝浦市の人々の暮らしについて学習するとりかかりとして、まずかつお漁師の暮らしについて考える。かつお漁師の暮らしの中心にはかつおがいる。かつおに注目させるところから始める。

かつおは回遊魚の中でもずば抜けた遊泳能力を持つ。かつおの特徴を挙げていくと、すべてが親潮海域のおいしいえさを食べるために泳ぎ続けるという目的につながる。

かつおの特徴を具体的に挙げられるよう、かつおを当日の給食に使用し、本時の資料にも実物を用いる（いずれも10月～11月に勝浦沖で漁獲・勝浦港で水揚げされた戻りがつおを即日冷凍したもの）。高い興味を持ちながら、かつおの生態について考えることで、かつお→漁の方法→漁師の暮らしへと関心が広がっていくようにしたい。

かつおは遊泳能力保持のためエネルギーを作り出す能力が高く、筋グリコーゲン量も多いため、死後は筋肉の変性速度が速く、傷みやすい。漁獲後は鮮度保持に神経を使い、水揚げ、加工、流通など全ての過程において処理速度が求められるため、分業が必要となる。そこで、多くの人々がかつおに関わり、水産業が発達する。鮮度保持の課題は多くの海産物に共通していることである。勝浦市についてじっくりと調べることが、5年生社会科の「水産業のさかんな地域」の産業としての漁業にも関心をつなげていくことになると考える。

「確かめる・まとめる」段階

勝浦市の人々の暮らしについてまとめるなかで、千葉県に船橋市とは異なるくらしかたがあることを知り、千葉県の多様なくらしかたによさをみいだせるよう支援していきたい。

3 単元の目標

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度

- ・水産業を営む勝浦市の人々の特色ある生活に関心を持ち、それらを意欲的に調べることを通して、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

(2) 社会的な思考・判断・表現

- ・水産業を営む勝浦市の人々の特色ある生活から学習の問題を見出して追究・解決し、勝浦市の特色を考え、適切に表現できるようにする。

(3) 観察・資料活用の技能

- ・水産業を営む勝浦市の人々の特色ある生活を資料を効果的に活用したり、白地図を利用して必要な情報をまとめたりできるようにする。

(4) 社会的事象への知識・理解

- ・水産業を営む勝浦市の人々の特色ある生活を理解できるようにする。

4 評価の観点と評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象への知識・理解
<p>①勝浦市の地形や産業などの概要やそこにみられる人々の生活の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>②勝浦市の特色やよさを考え、千葉県の一環としてとらえようとしている。</p>	<p>①勝浦市の地形や水産業などの概要やそこにみられる人々の生活の様子について学習問題を見出し予想し学習計画を考え表現している。</p> <p>②勝浦市の地形と漁業・水産業について関連付け、思考・判断している。</p> <p>③思考・判断したことをもとに適切に表現している。</p>	<p>①勝浦市における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を活用したりして、必要な情報を集め、読み取っている。</p> <p>②読み取ったことをまとめている。</p>	<p>①勝浦市では、自然や地形を生かした水産業が行われていることを理解している。</p> <p>②勝浦市では、水産業が盛んで関連した仕事に多くの人が携わっていることを理解している。</p>

5 指導計画（6時間扱い）

過程	時配	おもな学習活動・内容	支援（○）・評価（☆）	おもな資料
つかむ・たてる	1	<p>○勝浦市の人びとのくらしに関心を持ち、学習問題をつかみ調べる計画を立てる。</p> <p>・写真資料「勝浦漁港」（P 6 6）を見て、気づいたことを話し合う。</p> <p>・資料「勝浦市内にある漁港」（P 6 7）を見せ、写真（P 6 6）が千葉県のどのあたりの場所なのかを考えさせる。</p> <p>・副読本を見て写真が勝浦市の漁港の写真であることをおさえ、勝浦市はどのようなところか、地図やグラフ、漁業組合の人の話、折り込み地図「千葉県地図」などの資料を使って調べる。</p> <p>・勝浦市について疑問に思ったことや考えたことを話し合う。</p>	<p>○副読本を開かず、資料に注目させる。</p> <p>☆資料に関心を持ち、進んで発表しているか。 —ア①</p> <p>☆勝浦市の地形や位置・漁業に関する情報などを資料から集め、読み取っているか。 —ウ①</p> <p>○海岸線はひじきなどの海藻が豊富に育つ岩礁であり、金目鯛やいせえびが暮らしやすい海であることを知らせ、地形と漁業の形態が関連していることにふれながら、副読本の金目鯛・いせえびの漁船の写真を確認させる。</p> <p>○生鮮かつおの水揚げ量全国2位であることをグラフで確認させる。</p>	<p>・P 6 6 写真「勝浦漁港（かつおをとる船）」</p> <p>・P 6 7 図「勝浦市内にある漁港」</p> <p>・折り込み地図「千葉県地図」</p> <p>・P 5 9 図「おもな漁港と水産物」</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習問題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>勝浦市の人々は地形の特色を生かして どのような暮らしをしているのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題について予想する。 漁師が多い 魚を売る店も多い 海水浴場などで働く人もいる ・調べる観点を決める。 漁師の仕事 漁師以外の仕事 勝浦市のイベントなど 	<p>☆地形と漁業について学習問題を追究しようとしているか。 —イ①</p>	
調 べ る	4	○水産業に携わる仕事を中心に、勝浦市の人びとの暮らしについて調べる。		
		① (本時) <u>かつおの特徴・生態から、かつお漁の方法を考える。</u>	<p>○かつおの実物を用い、より具体的にかつおの特徴を挙げることで、生態について考えさせる。</p> <p>○かつおの生態と漁の方法について関連して考えられるよう、ポイントをしぼりながらすすめる。</p> <p>☆かつお漁の方法について、かつおの生態との関連をまとめ、表現しているか。 —ウ②</p> <p>☆漁業がどのように行われるか、思考・判断し追究しているか。 —イ②</p>	・かつお実物
		②漁師の1日の生活の様子を調べる。	<p>○動画を用い、漁の方法を想起しやすくする。</p> <p>○前時で出た意見と資料「漁師さんの1日の仕事」を比較しながら、かつおの生態と漁の方法・漁師の生活が深く関連していることに気付かせる。</p> <p>☆かつおの生態と漁の方法・漁師の生活が深く関わっていることを適切に表現しているか。 —イ③</p> <p>☆漁師の生活の様子を理解してい</p>	・動画「高知日戻りかつお」(ひきनाव漁法) ・P 6 8「漁師さんの1日の仕事」

			るか。 一エ①	
		③ ・「港ではたらく人」を見て、何を しているのか話し合う。 ・「魚をふやすための工夫」「とれた魚 のゆくえ」について調べる。	○資料「漁師さんの1日の仕事」の 中から、漁師以外の人とのかかわ りに着目させる。 ☆水産業に多くの人が携わってい ることを理解しているか。 一エ ②	
		④「勝浦市のくらし」を見て、観光な どに利用している様子を調べる。	○勝浦市の名物となっている朝市 や大漁まつり、かつおの加工品、 海水浴場は水産業や海が観光と 関わりあっていることに気付か せる。 ☆勝浦市の多くの人が水産業等に 関わりを持って暮らしているこ とを理解しているか 一エ②	
確 か め る ・ ま と め る	1	○調べたことをもとに、勝浦市の特色 について話し合ってみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">勝浦市では、自然や地形を生かし た水産業が盛んで、それに関連し た仕事をたくさんの人が行ってい る。</div>	○地形を生かし水産業が盛んであ ることをおさえる。 ○水産業を中心とした様々な仕事 があることを確認する。 ○船橋市と比較しながら、勝浦市の 自然や地形を生かしたくらし方 をしている人がいることを確認 する。 ☆勝浦市の特色やよさについて考 え、千葉県のよさとしてとらえよ うとしているか。 一ア②	

6 食に関する指導の観点から

食に関する指導の目標は、「食に関する指導の手引き—第一次改訂版—」に次のように示されている。

目標
(1) 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
(2) 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
(3) 正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。
(4) <u>食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。</u>
(5) 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
(6) 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

(1) 本単元の食に関する指導の目標と内容

本単元は、「食に関する指導の手引き—第1次改訂版—」に次のように示されている

1 目標

- (4) 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ。

2 内容

- ・食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること。
- ・食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていること。
- ・食という行為は、動植物の命を受け継ぐことであること。

(2) 児童の実態

クラス全体の残菜率は毎食5%以下である。魚が苦手な児童もいるが、給食時間が終わるのをただ待つのではなく、少しずつ食べようとする姿がみられる。栄養教諭のクラス訪問では当日の給食の食材や料理などについて児童が質問し栄養教諭が答え、関連の話題について児童間で会話がはずむことも多い。給食時には「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつが静かで落ち着いたなか行われている。

(3) 指導観

本単元では、児童が一つの食材（かつお）について焦点をしばらく深く考えられるようにしたい。かつおについての理解が深まれば、かつおを食べるとき、感謝の対象がかつお、海、かつお漁師、かつお漁の方法、それに携わる人たちに広がっていく。児童は「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつの意味を考えるようになり、今まで気づかなかったおいしさを感じるようになるだろう。

かつおを好きになってほしい。かつおをおいしく食べてほしい。そのため授業で児童が実物にふれて発見したかつおの特徴を、担任と栄養教諭がかつおの生態にうまくつなげ、児童がかつおに親しみを感ぜられるようにしたい。また、かつおを当日の給食に出し、一層関心を高めかつおのよさを感じさせた

い。

以上のような過程を踏み、一つの食材を深く知ることの面白さを感じてほしい。そして、本単元の学習時間と給食時間を活用しながら食に関する指導の目標に迫りたい。

7 本時の学習

(1) 本時の目標

○かつお漁の方法について、かつおの生態との関連をまとめ、表現している

【観察・資料活用の技能】

○漁業がどのように行われるか、思考・判断し追究している 【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開 (2/6)

時配	学習活動・内容	支援 (T1○T2◇) 評価 (☆) 食に関する指導の目標 (◎)	資料
3	1. 前時をふりかえり、本時の学習問題を把握する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">かつお漁しさんは どのように仕事をしているのだろう。</div>		
18	2. 漁しさんの仕事を考えるために、かつおの生態を知る。 ○勝浦で水揚げされたかつお（実物）を見ながら、各自かつおの特徴をワークシートに記入し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 〔・つるつるしている 〔・うるこがない 〔・胴体が太い 〔・紡錘形 〔・長細い形 〔・背中が青紫色 ・腹が銀白色 〔・おなかに縞模様がある 〔・口を開けている 〔・尾ひれが小さい 〔・尾ひれの幅が広い 〔・刺身は赤い 〔・食感がぱさぱさしている 〔・かつお節になる 〔・千葉県でとれる 〔・意外と小さい <ul style="list-style-type: none"> ・かつおの生態について、栄養教諭の話聞く。 ・速く、長く、楽に泳ぐための方法 ・いきのよいいわしが好き ・目がよい ・いたみやすい 	○実物のかつおを全員がみられるように、前中央に児童を集める。（たんけんバッグ・筆記用具持参） ○かつおの実物を用い、具体的にかつおの特徴を書かせる。 ○特徴を見つけられない場合には、体の部位ごとに観察するよう声をかける。 ◇児童が挙げたかつおの特徴を項目に分類しながら板書する。 ◇児童から出た意見をいかし、かつおの生態を説明する。	・かつお実物 ・ワークシート ・イラスト
23	3. かつおの生態をもとに、漁の方法や工夫をまとめる。		